

光と遊ぶ

サグラダ・ファミリアのイエスの塔が完成した。1883年に建築家アントニ・ガウディがその設計を担ってから、未完の美しさを誇ってきた建造物が大きな節目を迎えたのである。2年ほど前に私がここを訪れた際、建物と光が見事に融合した聖堂内部の空間に深い感動を覚えた。一通り見学を終えた後、併設されているミュージアムの壁にガウディの次のような言葉を見つけた。“Glory is light, light gives joy and joy is the happiness of the spirit.”光化学を研究する一人として、私はこの言葉に強く共感した。ガウディが建築を進めるにあたり、光を取り入れながら芸術作品を創作することを心底楽しんでいたことが伝わってきたからである。私は建築家ではないが、化学者として分子を扱うことができる。対象とするスケールこそ違えども、光と遊びながら設計・開発を楽しむという点で通じ合うものを感じている。・・・